

「子どもの参加に関する意識アンケート調査」 結果(速報)

(2011 年 6 月 13 日現在)

I、調査内容および結果概要

本調査は、この度の東日本大震災における復興に子ども自身が参加することについて、子どもたちがどのような意見を持っているかを知るために実施した。調査は 2011 年 5 月 24 日から 6 月 4 日にかけて、アンケート調査票を学校に配布し、自記式で行った。宮城県・岩手県の 5 地域、小学 4 年生から高校 3 年生を対象に実施し、計 89 校より 11,888 票を回収した(有効回答数は 11,008 票)。

※調査目的および実施状況の詳細はⅡ以下を参照。

調査結果の概要は以下のとおり。

- ・アンケート調査の結果、子どもたちの約 87%が、復興や今後のまちづくりに何らかの形で関わりたいと答えており、関心が高い。
- ・残り 13%の子どもは「何をすればいいかわからないから」「足手まといになりそうだから」という意見が多く、潜在的に関わりたいとする答えも合わせると、復興に参加したいと考える子どもの数は更に多くなる。

※調査結果の詳細はⅢ以下を参照。

Ⅱ、調査目的および実施状況

1. 調査目的

現在、東日本大震災における復興計画が、国・県・地方自治体において議論されている。日本政府が昨年発表した「子ども・若者ビジョン」、また昨年発表された国連子どもの権利委員会第三回日本政府報告書総括所見においても、子どもを社会を構成する重要な「主体」として尊重することや、政策決定プロセスにおける意見表明や社会参加の機会の保障がうたわれており、子どもの権利の視点から、この議論に子どもたち自身が声をあげ、参加することが不可欠である。本調査は、この点に関して子どもたちがどのような意見を持っているかを知るために実施した。

2. 調査対象および実施状況

対象地域：宮城県 石巻市、東松島市 / 岩手県 釜石市、陸前高田市、山田町

対象学年：小学 4 年生～高校 3 年生

調査は教師のガイダンスによる自記式で実施した。その結果、計 89 校(小学校 55 校、中学校 29 校、高校 5 校)から 11,888 票を回収。有効回答数は 11,008 票であった(有効回答率は 92.6%)。

Ⅲ、質問項目および集計結果

Q1 あなた自身について教えてください。

【性別】

	総数	比率
男	5,530	50.2%
女	5,478	49.8%
全体	11,008	100%

【学年】

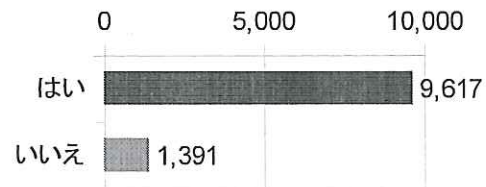
	総数	比率
小4	1,342	12.2%
小5	1,560	14.2%
小6	1,540	14.0%
中1	1,612	14.6%
中2	1,914	17.4%
中3	1,738	15.8%
高1	410	3.7%
高2	322	2.9%
高3	570	5.2%
全体	11,008	100%

【地域】

	総数	比率
石巻	5,130	46.6%
東松島	2,245	20.4%
釜石	1,428	13.0%
陸前高田	1,170	10.6%
山田町	1,035	9.4%
全体	11,008	100%

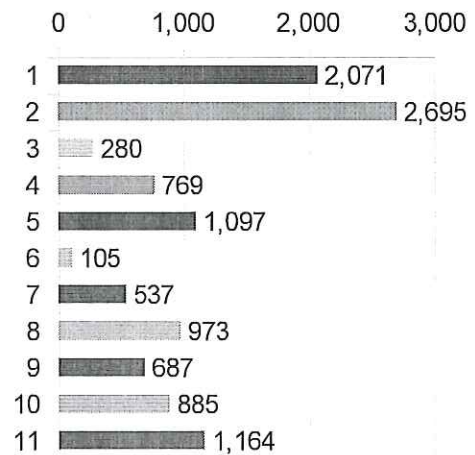
Q2 あなたは自分のまちのために、何かしたいと思いますか？

	総数	比率
はい	9,617	87.4%
いいえ	1,391	12.6%
全体	11,008	100%



「はい」の人は、どんなことがしたいと思いますか？（自由回答のため、複数回答・無記入回答あり）

	総数
1.ボランティア	2,071
2.ゴミ拾い・そうじ	2,695
3.あいさつ	280
4.元気づけたい	769
5.自分にできることなら何でも	1,097
6.芸能・伝統活動	105
7.募金	537
8.手伝い	973
9.環境活動	687
10.元に戻したい	885
11.その他 ※下記に抜粋	1,164
全体	11,263

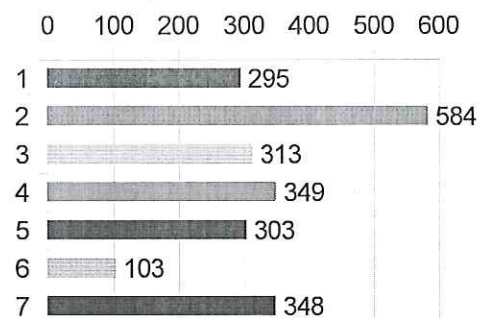


※「その他」に寄せられた回答より（誤字・脱字もそのまま転記）

- ・自分よりおさない児童館の子ともたちのめんどろをみる。（小5男）
- ・すこしずつでも、1歩前をむいて、がんばりたいです。海のそうじなどです。（小5女）
- ・大人は色々な事で、大変だと思うから、子どもを中心とした、元気を、町の地域の人達にとどける取り組みがしたい。（中1男）
- ・将来のことだが、市役所の職員になって直接再建に加わりたい。（高1男）

「いいえ」の人は、理由を 教えて下さい。(自由回答のため、複数回答・無記入回答あり)

	総数	比率
1.手一杯・精いっぱい	295	12.9%
2.忙しい・暇がない	584	25.4%
3.何をしたらいいのかわからない	313	13.6%
4.意思がない	349	15.2%
5.できないことがない	303	13.2%
6.必要がない	103	4.5%
7.その他	348	15.2%
全体	2,295	100%

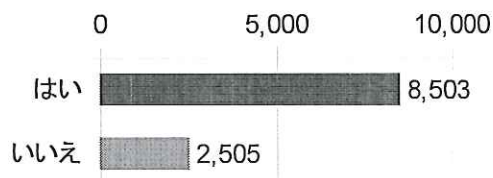


※「その他」に寄せられた回答より (誤字・脱字もそのまま転記)

- ・まだしんさいでがれきのこって子どもたちはがれきのそばえ近ずいちゃだめといわれているので何もしません。(小4男)
- ・何かしたいような気はするが、子どもで行動できないから。(小6男)
- ・もっとひどい所や、たいへんな人がいると思うから。(中2女)

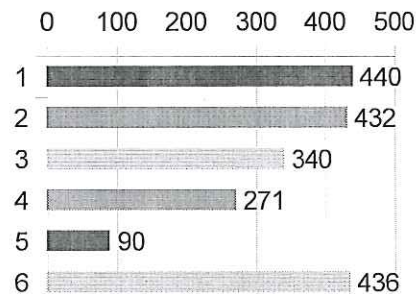
Q3 あなたは自分のまちをよくするために、人と話しをしてみたいですか？

	総数	比率
はい	8,503	77.2%
いいえ	2,505	22.8%
全体	11,008	100%



「いいえ」の人はその理由を書いて下さい。(自由回答のため、複数回答・無記入回答あり)

	総数	比率
1.話すのが苦手・人見知り	440	21.9%
2.話すことがない	432	21.5%
3.話をしても変わらない	340	16.9%
4.何を話していいかわからない	271	13.5%
5.話すより行動する	90	4.5%
6.その他	436	21.7%
全体	2,009	100%

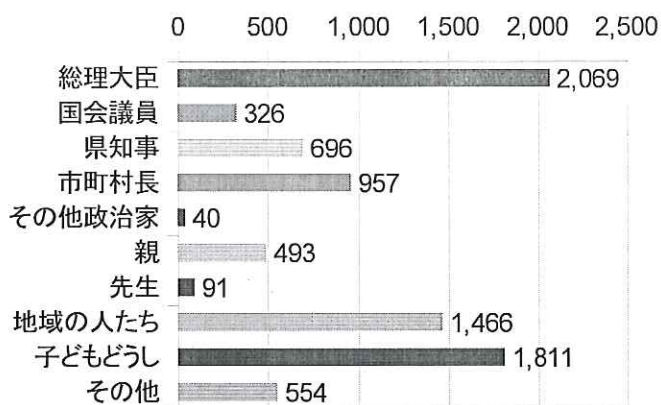


※「その他」に寄せられた回答より (誤字・脱字もそのまま転記)

- ・めんどくさいから。話しているひまがあったら、がれきひろいをします。(小5女)
- ・話をすると相手がおちこむから(家をなくしたり、家族をなくしたりする人に聞くとだめだから。)話す気はそもそもない。(中2男)
- ・ほかの人をたよるのではなく、自分で何をすればよいか考えて、ボランティアをしてみたいから。(中3女)

Q4 あなたは自分のまちをよくするために、だれと話をしてみたいですか？（選択式）

	総数	比率
総理大臣	2,069	24.3%
国会議員	326	3.8%
県知事	696	8.2%
市町村長	957	11.3%
その他政治家	40	0.5%
親	493	5.8%
先生	91	1.1%
地域の人たち	1,466	17.2%
子どもどうし	1,811	21.3%
その他	554	6.5%
全体	8,503	100%



※「その他」に寄せられた回答としては、芸能人、スポーツ選手など

Q5 その人と、どんな話をしてみたいですか？（寄せられた回答より、誤字・脱字もそのまま転記）

- ・つ波のせいで暗い県になってしまったので、家などはちょっとお金がかかるのでせめて花や木などを生えるのはどうですか。（小4女：県知事と話したい）
- ・どうやったら、みんなが笑ってくれるか（小5女：地域の人たちと話したい）
- ・未来のこの町を想像し、そのために自分達子供には何が出来るのかなどを話してみたい。（中1女：子どもどうしで話したい）
- ・大人だけできめないで、子どもたちのいけんもいれてほしい。「いいまちに」というなら、とかいなどちかい人たちだけでなく、私がすんでいるまちのいけんもとりたいしてほしい。など（中1女：総理大臣と話したい）
- ・歌手だったらライブとか…。タレントだったらおもしろい事（トークショーなど）をしてほしい。みんなが笑顔になると思う。（中2女：芸能人と話したい）
- ・せけん話とか、ざつだんというか、テーマとかを決めないで、みんなでゆっくり話せばいい。（中3女：地域の人たちと話したい）
- ・もっと県のアピールをして、宮城の特産物を多く広め、多くの人に宮城県に来てもらうことを話してみたい（高3女：県知事と話したい）

※その他、寄せられた子どもたちの声（誤字・脱字もそのまま転記）

- ・でも、子どもどうしだからあんまりつなみのことわはなせないけどやっぱりこどもどうしがいい。（小5女）
- ・明るくて、元気な町をつくるためには、心のそこから話せる人と話せる場がほしい（小5女）
- ・ひなん所にいる人や家はあるけど仕事はない人に、パートとしてやとて、がれきのてつきょ作業をさせた方がいいと思います。（小6男）
- ・どうしたら、この町は、もっとかがやきをもてるのだろう。（中1男）
- ・総理や国会などにたよってばかりじゃだめだと思う 市や町などで、自分にできることは積極的にやったほうがいい。（中2男）
- ・日本ががんばっているという事や、日本だけでなく、世界が日本を助けているという感謝を伝えたい。（中2女）
- ・なんで、この大変な時に、「平泉を世界遺産にしたい」なんて言ったのか。（中2女）
- ・はやくかせつをたてて、ストレスをかいしょうしてほしい。（中3女）
- ・情報がぜんぜん伝わってこないから、もっと情報をしっかり流してほしい。（高1女）
- ・原発問題があるのに、なぜ国会はおかしいことをしているのか？誰が総理大臣になっても同じだと思う（高1女）

以上

※その他の子どもの声については、7月1日よりセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンのホームページにて公開予定
⇒ <http://www.savechildren.or.jp/>

調査者：公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

【お問い合わせ先】

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 仙台事務所（担当：津田／緊急支援プログラムマネージャー）
〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町 1-3-7
Tel: 022-263-4561、FAX: 022-263-4562、E-mail: tsuda@savechildren.or.jp